

まえがき

近年、自動車産業関連業界は景気低迷、高油価、環境規制強化という難題に直面し、過去に見舞われたことがない困難を経験した。自動車製造企業はこの困難を勝ち抜くことができる新しい突破口を電気自動車、ハイブリッドなどの親環境自動車市場に求めだした。

2008年ハイブリッド車の世界市場規模は50万台規模と微弱であったが、この数字は2004年対比で3倍以上の成長であった。この中で31万台(63%)の販売実績を示したアメリカが最大市場であった。世界のハイブリッド車市場は、2015年には400万台以上の市場に成長すると見込まれている。

また、ハイブリッド自動車の後に到来すると予想される純粋な電気自動車市場は、世界各地で実施される環境規制の強化によって、ほとんどの世界の自動車製造企業は排出ガスゼロの純粋な電気自動車の量産を2~3年以内に通常化するという目標で開発に集中しているために、電気自動車市場の成長率はハイブリッドのそれを数倍上回ると見られている。

世界的な電気自動車開発競争の深化とともに、関連産業も大きく成長することが予想される。特に2次電池市場がより拡大すると予想される。電気自動車の普及拡大のために最初に解決しなければならない課題である充電インフラ市場も新しいブルーオーシャン市場として浮び上がっている。

このような時代的要求によって世界の自動車メーカーと関連産業企業は、対応策の用意と市場の先行獲得のために技術開発など多様な努力を行っている。水素燃料電池、バイオディーゼル、太陽光など電気と石油一体型エネルギーを利用した未来型自動車が各種モーターショーなどで公開され世界の耳目を集中させているだけでなく、すでに一部は市場が大きく広がってきている。

このような状況を踏まえて、本研究所は世界の電気自動車及びハイブリッド車の市場動向と関連産業の開発動向、製品動向、関連市場動向を中心に整理分析し、さらに世界の主要各国の環境規制と電気自動車及びハイブリッド車に係わる育成支援政策動向を綿密に調査分析し、国内関連産業及び関係者に情報を提供することにした。

弊社は本報告書が自動車産業の関係者及び関連事業に進出を計画する業界の事業戦略樹立と関連機関・団体・企業の実務担当者の業務に微力ながら役立ことを願う。

2010年12月25日

DACO 産業研究所
産業調査室

idaco@naver.com



